

研究機関：広島大学

研究課題名	腹部大動脈瘤による左室機能低下に対し、心筋シンチを用いた定量化
研究責任者名	広島大学大学院医系科学研究科外科学 教授 高橋 信也
研究期間	2021年12月23日(倫理委員会承認後)～2024年3月31日
対象者	2013年4月～2023年3月の間に、当院心臓血管外科・循環器内科にて心筋シンチを用いて心機能評価を施行した患者のうち、明らかな心筋虚血を合併していない方。
意義・目的	腹部大動脈瘤患者に冠動脈狭窄の合併が多いことは広く知られていますが、冠動脈狭窄を認めないにも関わらず左心機能低下が生じるケースが存在します。今回の研究では、腹部大動脈瘤術前に行われる狭心症・心機能評価目的の心筋シンチグラフィ検査のデータを用いて左室機能を定量化し、腹部大動脈瘤との相関を明らかにするためにこの研究を計画しました。
方法	<p>本研究は、診療録（カルテ）情報を調査して行います。</p> <p>カルテから使用する内容は身長、体重、性別、血液検査（白血球数、赤血球数、血小板数、総蛋白、アルブミン、総ビリルビン、間接ビリルビン、AST、ALT、rGTP、LDH、LDLコレステロール、HDLコレステロール、BUN、Cre、リウマチ因子、CRP、FDP、D-dimer、8-OHdG）、心筋シンチで得られるデータ（左室拡張末期容量、左室収縮末期容量、左室駆出率、左室最大駆出速度、左室最大充填速度、左室第2相最大充填速度、左室早期平均充填速度、最大拡張到達時間、心拍数、心筋虚血スコア、負荷時合計欠損スコア、安静時合計欠損スコア、心筋洗い出し率）、CTで得られるデータ（腹部大動脈瘤の形状、位置、最大短径、最大長径、瘤径増大速度、瘤壁石灰化の有無など）です。</p> <p>（個人を特定可能な情報は解析に用いません）</p>
共同研究機関	なし
試料・情報の管理責任者	広島大学大学院医系科学研究科外科学 教授 高橋 信也
個人情報保護について	<p>調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。</p> <p>研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。</p>
問合せ・苦情等の窓口	<p>〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3</p> <p>T e l : 082-257-5215</p> <p>広島大学病院 心臓血管外科 医科診療医 呉 晟名</p>